

No. 034

かまぼこ製品と食生活習慣・身体状況との関連性

研究タイトル；かまぼこ及び水産練製品摂取と生活習慣病との関連を探る疫学研究

主任研究者；徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部
社会環境衛生学講座 実践栄養学分野 教授 酒井徹

研究目的；かまぼこをはじめとする水産練り製品は白身魚を原料としており、低脂肪かつ高タンパク質の健康的な食品として注目されている。しかしながら、これまで日本の食文化のひとつである水産練り製品摂取と食生活習慣との関連についての報告はない。そこで本報告では、勤労者を対象とし、水産練り製品摂取量と食品群摂取量との相関および水産練り製品摂取量の違いがどのような食行動に関連しているのか解析を行った。

研究結果；調査対象者を、水産練り製品の摂取量で、少ない群、中程度の群、そして多い群の3群に分類をした場合、男女ともに水産練り製品の摂取量が多い群は、摂取量が少ない群に比べ年齢が高いことが分かった。食習慣との関連では、女性において、水産練り製品の摂取量が多い群は、少ない群に比べ、食事を抜く、いわゆる欠食の回数が少ない傾向にあった。また、水産練り製品と、他の食品群摂取との相関を調べたところ、男性においては、調味・香辛料の摂取量と、そして、女性においては、調味・香辛料に加え、穀物、砂糖、魚介類の摂取量との相関が他の食品群に比べ強かった。

水産練り製品摂取量と欠食の回数

